



輝くあさひ

第 65 号

発行 朝陽地区住民自治協議会
 会長 竹内正男
 編集 広報部 会
 印刷 株式会社 双真

長野市防災セミナー 避難を学ぼう ～避難スイッチ・セカンドベストで進める避難対策～

5月27日、防災意識の高揚と地域の防災力を高める長野市防災セミナーが開催され、「避難スイッチ・セカンドで進める避難対策」と題して、京都大学防災研究所矢守克也教授の講演がありました。

講演では、非常に増えつつある豪雨災害、土砂災害及び洪水災害等雨が降ることによって起きる災害に絞って、なお且つ防災心理学或いは災害情報という観点から、地域で防災活動を進めて頂いている中で、或いは関心を持って日々の生活されている中で、少しでもお役に立てればとの思いでお話させて頂きますと前置きし、豪雨災害から避難を考えたときに大事なのは「いつ」避難するか、何を「避難スイッチ」にするのか情報・身近な異変・人からの呼び掛け或いは「人の振る舞い」などを挙げられ、そして「情報」は避難スイッチの一つであるが全てでなく不十分なことが多い。又、何処へ避難するのは、市町村で指定した避難所へ行くことがベストであるが、行く時間的余裕がなくなったとき、近くにセカンドベストの場所を自分の頭の中でリハーサルしておくことが必要であるなどを、2015年の常総市の鬼怒川氾濫、17年の九州北部豪雨、18年関西空港及び長野県内でも被害があった、20年の熊本県人吉市球磨川水害などの豪雨災害を例に講演されました。



防災研修会「長野県の河川と流域治水の取組」

6月28日、自主防災会連絡協議会、水害防止対策協議会及び千曲川左岸堤防改修朝陽地区対策委員会が共催する防災研修会が開催され、「長野県における流域治水計画の目標及び取組状況」について、長野県建設部の下川雄央氏から講話がありました。

講話では、流域治水の取組みが本格的に始まったのは、令和3年からで今、県及び市町村が色々と交差しながら前に進めようとしているところで、流域の皆さんには多大な協力を頂いている。一級水系は国全体では109あり、その内8つが長野県にある。長野県では、県独自の「長野県流域治水推進計画」を令和3年2月に策定し、流域治水に係る河川整備（流す）、流域における雨水貯留等（溜める）及びまちづくり住民避難（備える）などの取組みを5カ年の数値目標を設定し、計画的・集中的に推進している。その治水推進計画のうち、今までの価値観とは違った対策として「溜める」という事で、県有施設に雨水貯留施設を5年間で439基設置しようと取り組んでいる。又、市町村に対しても同様な雨水貯留施設の設置をお願いしている。又、「備える」という事で、河川監視カメラの設置や浸水想定区域図の作成などの取組みを行っていることなどを話されました。



朝陽地区住民自治協議会 (事務局) 長野市北尾張部226-9 電話・fax 026-219-1068 ホームページ http://asahi-jk.jp	朝陽地区人口：15,035人 (+12) 6,499世帯 (+1) =2023年9月1日現在。()内は同年前月比	
	(内訳) 南屋島 811人(-1) 北尾張部 2,456人(+9) 北堀 2,610人(-8)	北屋島 491人(-2) 石渡 2,601人(+3) 桜新町 834人(+2)

朝陽分団がポンプ操法長野市大会に出場しました(6月25日)

長野市消防団には74の分団があり、5年に一度ポンプ操法の順番が回ってきます。今年は朝陽分団がその年に当たっており、年末から出場する5名を選考して準備を重ねてきました。

指揮者の諏訪剛史さん(北屋島)、一番員の夏日寛之さん(北堀)、二番員の竹内和樹さん(南屋島)、三番員の赤沼弘基さん(北尾張部)、補助員の篠原昇吾さん(北屋島)が今回の選手です。

ポンプ操法は火に見立てた標的(火点)を目指して、3本のホースを連結し小型ポンプから送水、倒すまでの時間と動作の正確さを競うものです。基準タイムの45秒から1秒遅れると1点減点、規律動作の乱れや操作の正確さでも減点があり、減点合計の少なさで順位を付けます。配布される要項や、過去の選手の動画などを観て勉強し、5月上旬から本格的に訓練に入りました。鶴賀消防署東部分署や、エムウェーブの駐車場などに水槽や火点を設置し、朝5時からの準備体操、規律、各番員の練習を進め、後半には実際にエンジンを回して水を打ちます。

選手以外の団員も交代でホース巻きや機材の運搬、撤収を手伝い、前回の選手らは経験を生かして指導に当たるなど、52名の朝陽分団の総力を挙げて練度を高めます。東部分署からも指導をいただく中で、団員との親睦が深まっています。近年は団員の負担軽減のため、以前よりも練習回数は少なくなっているため、一回ごとの練習に集中が必要です。

6月17日には朝陽支所で壮行のお披露目式を行いました。西脇市議や区長さん方、近隣の消防団幹部を招き、団員を含めて50名が参加し選手を激励しました。

翌週25日に県消防学校で長野市大会が開催され、選手は2ヶ月の練習の成果を遺憾なく発揮しました。

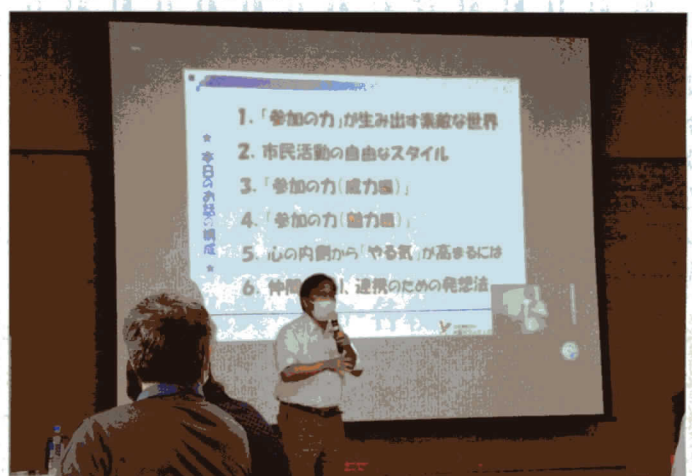
朝陽分団の結果は5位で、上位大会へ進む4位とは僅か0.8点差でした。選手は残念がっていましたが、全員ケガもなく最後までやり遂げることができました。この経験と苦労を共にした仲間是一生の財産となることでしょう。



「参加の力」で地域も私たちがもっと元気に!!

6月6日、第1回「参加の力」で創るボランティア・地域活動実践講座が長野市ふれあい福祉センター5階ホールで開かれ、大阪社会福祉法人大阪ボランティア協会理事長早瀬昇氏から講義「『参加の力』で地域も私たちがもっと元気に!!」、「出会い・共有・苦労探しビンゴ」(通称・グローバル・ビンゴ)での参加者間交流及び事前に決められた班ごとに分かれたディスカッションなどが行われました。

講義では、「参加の力」が生み出す素敵な世界と題し、①市民活動の自由なスタイルとして、テーマや対象及びベースを選べる。始めたら止められない…ことはない。「細く長く」の本当の意味は、細くても良い、長く続けられたら楽しい。②私を「開く」と公共的になる。普段の暮らしの「すぐ隣り」にある世界。・コレクションの美術品を公開すると…、・会社の福利厚生施設を開放すると…、休日に子供と遠足で近所の子も誘うと公共的になる。そして参加の力として市民・住民が持つ「力」及び「参加」で生まれる市民の「元気」など、ユーモラスで「タメ」になる話をされました。



大復活!あさひ・ふるさと夏祭り 北堀

「第35回あさひ・ふるさと夏祭り」が7月29日に実行委員会主催で開催されました。一雨欲しい程に好天の、朝陽駅前通りが午後4時に歩行者天国となり、和太鼓、鼓笛隊、マーチングバンドが華々しく演じられ、3つの会場では数々の夜店とゲームに行列の人波となりました。そこに三陽中学校の生徒ら61名を含む14連500名のびんする踊りが始まり、大盛況に。ほんぼりの明かりの下で、幼い子達が体をゆらしながら真剣に見つめておりました。4年ぶりの開催に「不安があったが、みんなの絆」で実行できた。来場者が前回より多かったのは、皆様が祭りを望んでいた現れ」と事務局。びんする踊りは「田中使節団(三陽中3年4組連)」が優勝です。



ベンチプロジェクト活動 南堀



南堀支えあいまちづくり委員会の話し合いの中で、ベンチを設置してほしいとの声があがり、2年前にベンチプロジェクトが発足しました。今までに丸太製のベンチを6台、テーブルを1台作りました。ベンチはすべてハンドメイドで、区在住の森林ボランティアの方より材料を分けていただき木工作業の指導を受けながらベンチを組立てました。ベンチには、育成会の子供達で絵を描いてもらい塗装を施し完成させました。テーブルは中部電力より電線巻取りリールを分けていただき塗装して完成させました。これらは槻井泉神社及び長命寺境内・南堀東遊園地・児童通学路等に設置しました。もしそれらの場所に行く機会がありましたら一度座ってみてください。

マジックショーで、お茶のみサロン 桜新町

桜新町福祉推進協議会では、毎年5月～11月第3火曜日に公民館でお茶のみサロンを実施しています。令和5年度の第2回となる6月20日は、長野市ボランティアセンターで活動している「すいせんマジックサークル」によるマジックを鑑賞しました。

鮮やかなマジックと軽快なトークに、町内より役員含め16名の参加者は驚きの眼で見つめました。ショーの最後には、「リングマジック」をマジシャンの指導のもとみんなで練習しました。最初はなかなかできなかった人も、できるようになると、みんな大喜び。拍手喝さいの中で、あっという間にショーは終わってしまいました。

コロナ禍は少しずつ収束に向かっている中で、町民の皆様にも喜んでいただけるような福祉活動を行いたいと考えています。



尾張神社への植栽 北尾張部



5月30日、長野信用金庫東長野支店のご協力により尾張神社への植栽が行われました。長野信用金庫が本年100周年を迎えることで各地域への貢献活動として記念事業の一環で行われたものです。当日は多くのスタッフの方に参加いただき、皆で童心にかえり土起こしから植栽まで行いました。尾張神社内には本年、氏子信徒総代による花壇設置も実施されており、鮮やかな花が増え一層華やかな境内となりました。氏子信徒総代からは「今後も地域の方と植栽を継続し、潤いのある神社にしていきたい」とのこと。お近くにお越しの際は是非ご覧ください。

4年ぶりに石渡区親善球技大会 石渡

7月2日、久しぶりに石渡区親善球技大会が信大附属特別支援学校校庭及び朝陽体育館で行われました。当日は、前日の雨とは打って変わり、素晴らしい晴天に恵まれ、盛夏のような陽光で汗ばむ中をグランドゴルフ及びペタンク体験が行われました。

親善球技大会は4年ぶりという事で、種目なども常会対抗から誰でも参加でき、個人及び小グループでもプレーが可能な種目へと変更になりました。

グランドゴルフは、4人、1グループで専用のクラブ、ボール及びスタートマットを使ってホール毎のポストにボールを入れて、打った数で順位を競いますが、校庭が狭いため他のプレイヤーに注意をしながら、和気あいあいとプレーを楽しみながらコースを回っていました。

ペタンクは、最近普及してきたスポーツで条件を選ばず誰でも楽しむことが出来ます。今回は体験という事で、附属特別支援学校の校庭で長寿会のペタンククラブの方からルールや競技説明を聞き、ペタンクの簡易体験をしました。ポッチャと似たようなルールで、ジャンケンで勝ったチームの代表が赤い目標球を投げ、それぞれ各チームの選手が交互に金属球を投げ、勝敗を競います。



ボウリング大会 北長池



6月18日、北長池公民館主催による「ボウリング大会」が今年も開催されました。今回は2回目の開催という事で昨年の反省点を踏まえ、参加費無料にするなどの改善をした上で行われました。前回よりも参加者が増え老若男女楽しみながら体を動かす事ができました。今年も公民館長の挨拶から始まり、それぞれ家族、世代別に分かれ2ゲーム行い、上位3位とブービー賞の方が表彰されました。最後は全員参加のじゃんけん大会が行われ、みなさんに楽しんで頂けたのではないかと思います。ボウリング大会が北長池の毎年恒例イベントになっていければと思います。

育成会のスイカ割りとお菓子つかみ取り 北屋島

北屋島育成会は7月30日、北屋島公会堂でスイカ割りとお菓子のつかみ取りを開催し、約30名の小中学生が参加しました。同会では例年、一泊二日のキャンプを実施してきましたがコロナ禍で中止を余儀なくされ、本年は4年振りの開催となったのです。

スイカ割りでは、各学年の代表が周りの声を頼りにスイカを叩きました。なかには地面を叩いてしまうお友達もいて、そのたびに、みんなの笑い声が周辺に響き渡りました。割ったスイカは、エアコンで涼くなった公会堂の中でおなかいっぱい食べました。

その後、お菓子のつかみ取りを全員で行い、子供たちは小さい手にいっぱいのお菓子を持ち帰り、夏の楽しい思い出を作ることができました。



自主防災訓練 南屋島



6月4日に南屋島区の自主防災訓練が行われました。新型コロナウイルスの感染拡大により近年は役員のみで実施していましたが、今年は4年ぶりに区民も参加して、総勢70名での開催となりました。

鶴賀消防署東部分署の指導を受けて、駐車場で消火訓練を行った後は公民館の大ホールへ移動します。ここでは携帯電話からの119番通報の模擬訓練、救急救命の説明と実演、グループに分かれて簡易担架づくりを行いました。簡易担架は物干し竿と毛布を利用したものです。実際に人を載せて運ぶことでコツや注意点を学びました。

最後に奉仕団の炊き出し訓練で、災害救援用の包装食で作ったおにぎりを配布。短時間の中で充実した内容の訓練でした。

梅雨や台風シーズンを迎え、自助および共助の行動ができるように備えていきたいと思います。

「地域の参加を『止めない』ポストコロナの地域力アップセミナー」が開かれました。

6月21日、第2回「参加の力」で創るボランティア・地域活動実践講座兼長野市地域福祉推進セミナーが長野市若里市民ホールで開かれ、参加を「止めない」ポストコロナの地域活動として、おく内科・在宅クリニックの医師奥知久氏から基調講演及びパネルディスカッションがあり、活動の現場から「私たちが大切にしたこと～」など。長野市の三輪地区から「三輪地区本郷区ふれあいサロン」、川中島地区から「地域たすけあい事業」及び朝陽地区南堀区から「みて!みて!こんなのあるんだよ展」、各地区での活動や現状及びポストコロナへの取組み等の紹介がありました。

又、基調講演では、様々な参加の姿を話され、そして会場の参加者に「こんな場合、あなたならどうする?」など、コロナが始まって、この1年間にコロナで色々あったにも関わらず、私はこんな工夫をしているなど会場に問い掛けをしながら、参加の在り方などを講話されました。



令和5年度地域と学校との連携懇談会が開催されました

7月15日、令和5年度の地域と学校との連携懇談会が開催されました。この懇談会は、各学校の教育目標の重点や児童・生徒の様子などを情報交換し、課題解決に向けた具体的対策を検討する趣旨で平成19年に設立されましたが、ここ数年、コロナ禍の影響により中断を余儀なくされましたが、今年度から構成する学校を2つに分け、隔年おきに発表することとし、再開されました。

懇談会では、始めに住自協から住みやすい環境で、様々な事業を行い、児童・生徒・青少年が健全で充実した生活を送れるように啓発活動を進めている旨の報告及び朝陽団地のまんぷく食堂の運営や状況の紹介があり、引き続き朝陽小学校から学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」の具現化に向け、大切にしたいこと、全教職員で目指していること。地域、家庭と協力していることなど。三陽中学校から教育目標「心豊かにたくましく生き抜く生徒」を一層工夫し、学校全体で生徒の成長を見守る体制を整えている旨。長野盲学校から目標「障害からくる困難を乗り越え、強く生きる人間を目指し、その人間像及び学校像を。長野東高校から学校行事や進路状況などを。信州大学教育学部附属長野小学校から学校の使命、教育実践の重点及び生徒指導基本方針などを。信州大学教育学部特別支援学校から教育方針及び教育目標などが、それぞれの学校から発表があり、その後参加者による相互意見交換が行われました。



防犯研修会「地域における防犯活動」が開催されました

7月4日、朝陽地区の防犯研修会が朝陽支所2階集会所で開催され、長野中央警察署生活安全第一課の細田正文氏より「地域における防犯活動」と題して講話がありました。

講話では、中央警察署管内及び朝陽地区でどのようなことが起こっているのかを知って頂きながら、朝陽地区の防犯に役立てて頂ければと前置きされ、犯罪情勢として刑法犯認知件数が、平成14年が全国的にピークを迎え、当時285万件あった被害が、防犯活動を進めたところ、令和3年には戦後2番目に少ない件数となり、治安が確保されている。

逆に増えている犯罪や被害に特殊詐欺及び児童ポルノなどがあり、又他地域で今困っているのが、空き家を狙う泥棒で、長野市でも連続発生している。地域の防犯活動の一環の中で空き家に対する認識を高めて頂きたい。

又、特殊詐欺で、被害者を守るために一人一人が特殊詐欺の手口を知り、家庭、地域、職場で特殊詐欺に立ち向かう力を発揮することが大切。声を掛け合って地域の絆で特殊詐欺をストップし、少しでも可笑しいなと感じたら、何時でも気楽に相談下さい。後は皆さんが課題を見つけて、どの様に対応したらよいかを考え、やって頂きながら、各自治体や行政、警察、学校などを巻き込んで共同で対応することが必要になる。朝陽地区に犯罪が起きないことを願いながら…。と講話を締めくくられました。



第35回あさひ・ふるさと夏祭りに朝陽市場が、夜店に出店しました

7月29日、あさひ・ふるさと夏まつり実行委員会主催のあさひ・ふるさと夏祭りが行われ、総務部会の朝陽市場が夜店に出店しました。当日は夏の暑い日ざしが降り注ぐ中、若干暑さが和らいだ夕方4時から駅前商店街を歩行者天国に、勇壮な和太鼓演奏、可愛らしいみかさ幼稚園の園児の皆さんによる鼓笛隊や古里小学校の児童によるマーチングバンドなど様々なイベントや夜店で午後9時まで大変な賑わいでした。

総務部会の朝陽市場は、第1会場の一番目立つ場所に陣取り、おやき、地元農産物、菊芋の味噌漬け及びメインの菊芋焼酎を販売しておりました。このお祭りも水害や新型コロナ禍で4年程中断を余儀なくされ、久しぶりのお祭りとおあってスタッフの皆さん、和気あいあいと楽しんでいる様子でした。



完全個別指導塾

学研CAIスクール

対象：小学生、中学生、高校生
教科：国語、算数、数学
英語、理科、社会

学校の授業がもっとよくわかる!!
学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL (026) 256-9131 長野市北尾張部385

～絆な心でにぎります～



江戸前 鮎仁

寿司出前・仕出し・各種宴会
御法事・御慶事・オードブル
御弁当・出張寿司パーティーなど
北尾張部396-10
TEL/FAX 244-1221



読心力・考える力 伸びる学力

学研教室

幼児/算数・数学・国語/英語

学研 北尾張部教室 長野市北尾張部385 256-9131



学校法人 松本国際高等学校
理知の杜

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎026-243-1379

●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸 陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町綱島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108

自動車・火災・生命・各種保険代理店
保険のことならまかせて安心

あんしん企画

TEL 026-229-7171